

ふるさと一番会議で 3高校の未来を考える

市では、5月8日から6月22日までの間に、市内20会場において「ふるさと一番会議」を開催しました。

大きなテーマは、「市内3高校のあり方」と「地域医療」でしたが、ここでは活発なご意見をいただいた「市内3高校のあり方」についての議論を分かりやすくとりまとめて紹介します。

問い合わせ 総務課 ☎552-5111



3高校は宝です

丹波篠山市には特色を有する県立の3高校があります。篠山鳳鳴高等学校は、150年の歴史を持ち、卒業生は各界で活躍、その名は全国に知られています。篠山産業高等学校は、地域を担う多くの人材を輩出、専門的知識や技術を学び、市内外の企業から高い評価と信頼を得ています。篠山東雲高等学校は、農業や自然環境の取り組みで活躍し、一人ひとりを大切にしています。

3高校の現状はどうですか

篠山鳳鳴高等学校

平成29年(2017)から1学年5クラスが4クラスになりました。ここ最近の定員割れは大きく、現在、1学年4クラスで160人定員のところ、3年生113人、2年生129人、1年生126人、市内からの生徒が約8割です。篠山鳳鳴高校では、毎年約9割以上の生徒が大学や短大に進学するなど高い進学率を誇ります。また、今春から「STEM探求科」がスタートし、新学科では「単位制」が導入され、より自由に学びたいことを学ぶことができるようになりました。

篠山産業高等学校

市内高校の中では、生徒数が比較的安定しています。機械工学科、電気建設工学科、総合ビジネス科、農と食科の職業科4クラスです。大学進学と就職が約半々ですが、専門性を生かした進学実績や、就職では市内外の企業・事業所から高い人気があります。野球部の監督に長澤宏行(ながさわひろゆき)選手が就任されたことで、甲子園をめざす地元の子どもたちが集うようになり、期待を集めています。現在、1学年4クラスで、160人定員のところ、3年生133人、2年生145人、1年生144人となっています。市内の生徒が半数、丹波市や三田市からの生徒も半数です。

篠山東雲高等学校

篠山産業高校東雲分校から、平成23年(2011)に独立校となつて14年目です。定員40人の1クラス、地域農業科です。当初は定員を満たし、勉強・スポーツなどでレベルの高い生徒の活躍もあり、農業面では全国的な活躍もありました。ここ最近では、少人数を生かして、その能力を伸ばせる、一人ひとりを大切にされた教育が評価されています。しかし、最近の定員割れは大きく、現在1学年が1クラス40人定員のところ、3年生30人、2年生21人、1年生15人と

なっています。市内からの生徒は約9割です。

なぜ市外の高校に行かれるのですか

市内の高校を選択せず、三田市内の高校や柏原高校を選ぶ傾向があります。市外の高校に進んだ生徒への聞き取りでは「三田市内の高校は「学力、進学実績」、明るい雰囲気、校舎がきれい」、柏原高校は「希望の部活動ができる」「駅に近い」ことなどがあげられています。

市はどんな取り組みをしてきたのですか

県立高校ですので、兵庫県が校長、先生方を中心に高校を盛り上げてほしいと願っています。しかし、市内の高校が大きな定員割れをしている状況は決して好ましくありませんので、市としてできるだけ応援をしてきました。市内高校の進学や就職の実績の発表や部活動の活躍をできるだけ取り上げたり、「それ、丹波篠山でもできるぞ!」と題してのポスター作成をはじめ、ネットでの発信、通学が便利になるバスルートを見直したりしました。小規模校の篠山東雲高校へは生徒たちの活動も支援しています。

将来の市内の生徒数の見通しはどうですか

市内の中学生全体の数は、残念ながら減り続けています。約50年前には1学年で800人以上あったものが、30年前には580人、10年前には370人、現在は330人です。これがさらに、今の出生数から推計すると、10年後に240人となる見通しです(移住などによる転入者は含んでいません)。

3高校をこのまま存続できないのですか

令和4年に兵庫県から県立高校の発展的統合を進める方針が出され、来年には丹波地区、それも丹波篠山市で統合計画が公表される見通しです。残念ながら、3高校の存続は不可能と言えます。県内を見ても、1市に3校あるのは極めて珍しいものです。

市から統合の話をしなくても、県の発表後にすればよいのではないうですか

兵庫県の発表があつてからでは既に遅いのです。賛成や反対を言っても通らないと思われれます。しかし、県立高校のあり方は、市のまちづくりに大きな影響があるため、できることなら市や市民の皆

さんの意見を取りまとめたいと考えています。

職員プロジェクトで検討されたのはどんなことですか

1校に統合するとしたときの「校舎の場所」と「校名」について検討しました。校舎は「篠山鳳鳴高校の場所」「篠山産業高校の場所」「新しく篠山口駅近くの犬飼・初田地区」の校名は、「丹波篠山高校」「丹波篠山総合高校」「鳳鳴義塾高校」が候補に挙げられました。

市民の意見はどのようなものですか

統合については、今の定員割れの状況と将来の生徒数を見通したとき、1校に統合することに「賛成」や「むを得ない」が多数で、1校にして魅力ある高校にしてほしいという意見が多く出されました。学力とともに社会で活躍できる力、小中高の連携、英語などの国際教育、普通科と職業科の選択制、部活動の活性化などがあげられました。

一方で、篠山鳳鳴高校の関係者からは、「長い歴史を閉じる」ことに抵抗感があり、「定員割れも克服できる」との声がありました。

篠山東雲高校の関係者からは、「篠山東雲高校がなければ、入学する高校がなくなる」「学力や偏差値

だけの社会ではない。立派な社会人を育てる篠山東雲高校の存在は大きい」と、強く存続を望まれています。

校舎の場所については、新しい校舎が建築されるとそれだけで魅力が高まることが期待されますが、土地の確保という課題があります。駅付近に開校した場合、市外や丹南、今田地区からは近くなりますが、市の東部からは遠くなり、交通の便も確保が必要だとされました。

校名については、特に意見がありませんでした。

今後はどのようになりますか

今後、高校を選択されることとなる生徒や保護者の皆さんなど、若い世代のご意見をさらに伺っていきます。

市民の皆さんの意見が集約できれば、大上和則県議会議員と歩調を合わせ、兵庫県に要望していきます。集約できなければ、兵庫県の判断に委ねざるを得ません。

「ご意見をお聞かせください」

「市内3高校のあり方」について、市内の皆さんの率直なご意見をお聞かせください。

問い合わせ 総務課 ☎552-5111

兵庫県の発展的統合計画とは、どのようなものですか

令和4年(2022)3月に、兵庫県では県立高校教育改革第三次実施計画を策定され、発展的統合が進められることとなりました。それによると、望ましい規模は、少子化にあつても多様で活力ある教育活動を期待するため、「普通科、総合学科で1学年6〜8学級」「職業学科で1学年3学級以上」で望ましい規模となるよう、発展的統合を行うというものです。

そして、「丹有地域で4校を2校にする」ことを令和7年(2025)に公表し、令和10年(2028)に統合するとされています。



こんだこども園は地域の方が声をあげたことから始まりました。園内には地域の方が作ったベンチや丹波焼のものがあ、地域に支えられていると感じます。

子どもたちには、芝生や木のぬくもり、今田のものであふれた園舎で過ごすことで、ふるさとを大事にする心を育みながらのびのび育てたいです。



こんだ認定こども園保護者会 会長
岸野 遥香さん

とある2歳児さんの1日

- 8:45 登園
- 10:00 みんなの時間
- 11:20 お昼ごはん
- 12:45 お昼寝
- 15:00 おやつ時間
- 16:00 降園

今日は異年齢交流!



エコでやさしい、みんなにやさしい

こんだ認定こども園



今田保育園と今田幼稚園が統合して誕生した「こんだ認定こども園」。7月1日から、69人の園児たちが元気に登園しています。新しい園舎で元気いっぱい遊ぶ子どもたちとともに、こんだ認定こども園を紹介します。

問い合わせ 保育教育課 ☎552-1115



今田ならではの意匠

門には丹波焼の陶板を。玄関には今田保育園から引き継いだ、園児が乗れるサイズの丹波焼のアンパンマンがいます。



木の香りに包まれた園舎

木造平屋建ての園舎には市内産の木材を利用。木の香りにつつまれたあたたかみのある室内になりました。



天然芝で気持ちのいい園庭

子どもが安全に遊べる天然芝の園庭。走り回って転んでもけがをしにくく、天気の良い日は日向ぼっこもできます。



森のたあみなるの樹木を活用

こども園決定に伴い取り壊しとなった「森のたあみなる」の樹木を活用し、ベンチや積み木に。

つながりを大切に

子どもたちが安心して過ごせる場所に移転でき、幼稚園と保育園が統合したことで保護者の負担も小さくなりました。

運営にあたっては、今田の地域性を生かして小・中学校とも連携していきたいと考えています。今年度からこども園と小学校で学校運営協議会を立ち上げたので、保護者会、地域の方と一緒にこども園を盛り上げていきます。「子ども一人ひとりを大切に、保護者から信頼され、地域に愛され、共に育てる『共育』」を理念に、笑顔と笑い声があふれるこども園をめざしていきます。

こんだ認定こども園 園長 酒井 美世子



省エネにつながるヒートポンプシステム、全熱交換器、人感センサー、LED照明、太陽光発電、複層ガラスなどを採用し、高い評価を受けました。省エネ性能が高いと、光熱費の削減になるほか、建物内部の温度変化を抑えられて、より快適に過ごすことができます。

エコな5つ★獲得

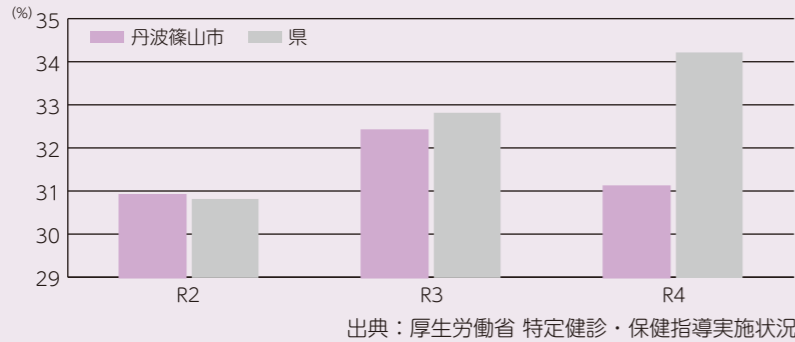
こんだ認定こども園は、市内の公共施設で初となるBELS(建築物省エネルギー性能表示制度)の5つ星を取得しました。これは建築物の省エネ性能を表示するもので、星が多いほど、消費エネルギーが少ないことを表します。

こんだ認定こども園は、市内の公共施設で初となるBELS(建築物省エネルギー性能表示制度)の5つ星を取得しました。これは建築物の省エネ性能を表示するもので、星が多いほど、消費エネルギーが少ないことを表します。

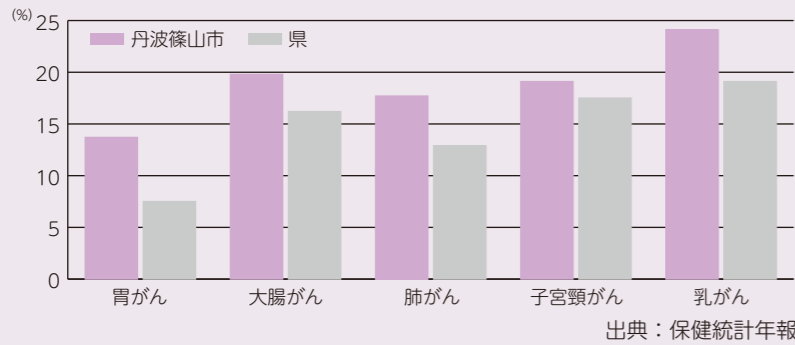
7月1日、今田支所近くの駐車場「森のたあみなる」跡地に、こんだ認定こども園が開園しました。新しい園舎は木造平屋建て(一部鉄筋コンクリート造)で、定員は120人。市内産のスギやヒノキを使用し、木のぬくもりを感じる室内となりました。園庭には天然芝が敷き詰められ、安心して走り回ることができます。

データで見る 健診(検診)の受診率

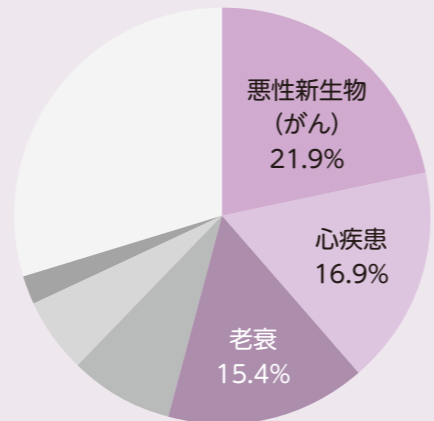
特定健診受診率



がん検診の受診率(R4)



丹波篠山市の 主な死因別死亡数の割合



脳血管疾患	8.2%	悪性新生物(がん)	21.9%
肺炎	5.8%	心疾患	16.9%
不慮の事故	2.3%	老衰	15.4%
その他	29.5%		

保健統計年報を基に作成

死亡原因の第1位の悪性新生物(がん)、第2位の心疾患、第3位の老衰だけで、丹波篠山市民の死因の50%を超えています



受けなきや損！ 特定健診・がん検診

健診
予防のために健康状態を調査する

検診
特定の病気に絞って調査する

日本人の死亡の6割は生活習慣病が原因です。生活習慣病は自覚症状が少なく少しずつ悪化し、重大な病気を引き起こします。生活習慣病の早期発見と自分の健康状態を知るために、1年に1回は健診(検診)を受診し、健康状態を確認しましょう。

問い合わせ 健康課 ☎594・1117

「特定健診」で からだの声を聞こう

特定健診とは、40歳から74歳までの皆さんを対象としたメタボリックシンドロームに着目した健診です。血圧測定や血液検査、尿検査などを行い、生活習慣病リスクの早期発見や重症化予防を大きな目的としています。生活習慣病は食事や運動、ストレス、睡眠、喫煙、飲酒などの生活習慣が影響し、発症する病気の総称で、死因の上位を占めるがんや心臓病、脳卒中などの生活習慣病が原因となります。生活習慣病はほとんど症状が出ずにゆっくりと進行するため、気付いたときには、病気が進んでしまっていることもあります。健康状態を把握し、生活習慣を見直すことで、病気の発症を防ぐことができます。

健診結果のちよっとした 変化はありませんか

特定健診では高血圧、糖尿病、

高脂血症などのリスクを見つけることができます。これらの生活習慣病が進行すると、心臓や腎臓、脳の血管が傷んでいきます。健診項目では、心電図、eGFRや尿蛋白、眼底検査にあらわれてきます。はじめはどれもちよっとした異常です。

特定健診の受診結果によると、生活習慣病の発症リスク(肥満、高血糖、脂質異常、高血圧)がひとつもない人は全体のわずか2割。自分は健康だと思っても約8割の方はいずれかのリスクを持っています。健康を守るためには先手必勝です。

本市の受診率は県内38位

令和4年度の本市の国民健康保険加入者の特定健診における対象者は6,243人で受診者数は1,942人。受診率は31.1%で県平均を下回り、県内41市町中、38位と非常に低くなっています。また、男女別・年代別では、男性の受診率は低く、男女とも40代と50代の受診率が低い状況です。

40代は体に見えない変化が現れる年代です。自分の体を過信しないで、家族はもちろん、将来のためにも健診を受けましょう。

がんを恐れず、早めに 検診を

市では、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん・前立腺がんの6種類のがん検診を行っています。がん検診は、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことで、がんによる死亡を防ぐことを目的としています。

令和4年度の本市の死亡原因の第1位は「がん(悪性新生物)」で、2位が「心疾患」、3位が「老衰」です。がんは21.9%で、約

4人に1人の割合となっています。がんの中では、肺がん、胃がんが死因の上位となっています。がんは40代後半から、発症リスクが高くなっていきます。初期には自覚症状がほとんどなく、検診などで発見されることが多く、発見されたときにはすでに進行しているケースも少なくありません。毎年、検診を受けることで、体の変化に気付くことができます。本市のがん検診受診率は県平均と比べて高く、がんへの関心の高さがうかがえます。がんを克服する最大のポイントは早期発見、早期治療です。がんを恐れず早めにごがん検診を受けましょう。



特定健診 受診者の声

まつお たかかず
松尾隆和さん

サラリーマンのときに糖尿病を発症し、さらに健診で緑内障も発覚しました。その後、体の調子がおかしいと感じ始め、そこから毎年、健診やかかりつけ医で検査を受け続けています。検査値に異常がなければ、とても安心します。

健診は近くで受けることができ、時間もかかりません。「健康は自分で守る」ということが大切です。ご自身のため、家族のためにも、年に一度は健診を受けていただくことをお勧めします。

今後の健診日程・検診項目のお知らせ

市と指定医療機関が実施する健診の日程と検診項目は以下の通りです。受診の際は、予約が必要です。予約方法など、詳しくはお問い合わせください。

医療機関で受診できる健診・検診項目

特定(基本)健診 ■ 場所 市内指定医療機関 ※医療機関についてはお問い合わせください。

健診項目	検査内容	対象者 (令和7年3月31日時点)	受診方法
特定健診	問診・身体計測・診察・血	国民健康保険に加入している65歳から74歳までの方	誕生日の前月に発送の「特定健康診査受診券」が届いてから、市内指定医療機関へご予約ください
長寿基本健診	圧測定・血液検査 ほか	後期高齢者医療制度に加入している75歳以上の方	「後期高齢者健康診査受診券」が届いてから、市内指定医療機関へご予約ください

がん検診・歯周病検診 ※申し込み方法などについてはお問い合わせください。

検診項目	対象者 (令和7年3月31日時点)	検査内容	医療機関
胃がん検診	51・56・61・66・71歳	胃内視鏡検査	兵庫医科大学ささやま医療センター☎552-7561 岡本病院☎594-1616 / 小嶋医院☎590-2350 かわいクリニック☎552-0308 / 栖田内科☎552-0338 西井クリニック☎595-0221 / にしき記念病院☎593-1352
乳がん検診	20歳以上女性	マンモグラフィ検査 視触診検査	兵庫医科大学ささやま医療センター☎552-7561 かわいクリニック☎552-0308 岡本病院☎594-1616 / かわいクリニック☎552-0308 西井クリニック☎595-0221
子宮頸がん検診	20歳以上女性	子宮頸部細胞診	兵庫医科大学ささやま医療センター☎552-7561 タマル産婦人科☎590-1188 / 細見クリニック☎552-6007
歯周病検診	31・41・51・61・71・76・81歳	歯科検診 歯磨き指導	市内歯科医院

がん検診 無料対象 ①丹波篠山市国民健康保険加入者 ②70歳以上の方(令和7年3月31日現在)
③後期高齢者医療制度加入者 ④生活保護受給者 ⑤無料クーポン券対象者

市で受診できる健診・検診項目

健診・検診項目	対象者 (令和7年3月31日時点)	検査内容
特定(基本)健診	国民健康保険に加入している20歳から64歳までの方	問診、身体計測、診察、血圧測定、尿検査、血液検査ほか
肺がん検診	20歳以上	胸部X線間接撮影
胃がん検診	35歳以上	胃部X線間接撮影(バリウム検査)
胃がんリスク検診	20歳以上 過去未受診者	血液検査 (ピロリ菌抗体検査、ペプシノゲン検査)
大腸がん検診	20歳以上	便潜血検査
肝炎ウイルス検診	40歳以上 過去未受診者	血液検査(B型肝炎、C型肝炎)
前立腺がん検診	50歳以上男性	血液検査(PSA測定)
乳がん検診	40歳以上女性	マンモグラフィ検査
骨粗しょう症検診	40歳以上女性	超音波踵骨測定

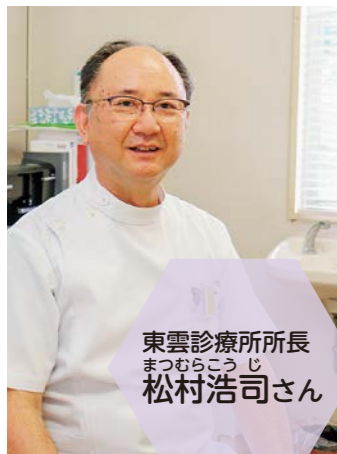
がん検診 無料対象 ①丹波篠山市国民健康保険加入者 ②70歳以上の方(令和7年3月31日現在)
③後期高齢者医療制度加入者 ④生活保護受給者 ⑤無料クーポン券対象者

今後の健診・検診日程

会場 丹南健康福祉センター
受付時間 8:30 ~ 11:30
申し込み方法 健康課まで電話でお申し込みください
申込期限 申し込み受け付けは各健診(検診)日の4週間前で終了します。ただし、定員になり次第、締め切ることがあります
申し込み・問い合わせ 健康課☎594-1117

日程	備考
8月30日(金)	マンモグラフィ検査あり(※)
9月20日(金)	マンモグラフィ検査あり(※)
10月 8日(火)	
11月18日(月)	
12月 4日(水)	マンモグラフィ検査あり(※)
令和7年 1月31日(金)	マンモグラフィ検査あり
2月 8日(土)	マンモグラフィ検査あり
2月 9日(日)	マンモグラフィ検査あり

(※)は定員に達したためマンモグラフィ検査の受け付けを終了しました。



東雲診療所所長
まつむらこうじ
松村浩司さん

早期発見のために定期的な健診(検診)を

生活習慣病には高血圧や脂質異常症、糖尿病などがあります。これらは、重症になるまで自覚症状がなく、気づかないまま放置すると、心筋梗塞や脳卒中など、命に関わる恐ろしい疾患を引き起こすことがあります。病気の発症を予防し、健康に生きるためには、健診を受診し、体の状態を把握することが大切です。

市の特定健診の受診率は残念ながら高いとはいえませんが、元氣だから関係ないと思ってしまう方が多く、病気になるまで「早く受けていればよかった」と後悔しないためにも、積極的に健診を受診してほしいと思います。

本市の主な死因の第1位は「がん」ですが、多くのがんは早期であれば治せる可能性が高く、恐れることはありません。早期発見のためにも検診を受診しましょう。

